

## 令和六年度 入学式 式辞

暖かな空気に包まれ、春爛漫のときを迎えた今日のよき日に、多数のご来賓並びに保護者の皆様方をお迎えし、入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、大きな喜びでございます。

今ほど入学を許可いたしました146名の皆さん、入学おめでとう。そして保護者の皆様、ご家族の皆様おめでとうでございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、今から約30年前の平成7年、インターネットや携帯電話が急速に普及し、人々の生活や価値観が大きく変化する中、石川県ではじめて、全国でも8番目に設立された総合学科の高校です。様々な希望を持って入学してくる生徒たちのニーズに応えるため、進学にも就職にも対応した教育を行ってきた本校ですが、おかげ様で昨年、前身の金沢松陵工業高校の時代とあわせ、創立から60周年の節目を迎えることができました。

皆さんは、数多くある県内の高校から、この金沢北陵高校を選んで入学してくれました。もうすでにやりたいことが決まっていて、夢を持って入学した人もいれば、これから自分の夢を見つけたいと考えている人もいます。

そんな皆さんは、1年次においては全員が同じ教科・科目を学びますが、2年次からは将来の進路と密接に関連した「進学」「工業」「ビジネス」「生活・福祉」の4つの学習系列に用意された、たくさんの選択科目の中から、自分の興味関心に応じて自由に科目を選択し、将来の夢や目標に向かって一步一步進んでいくこととなります。自分の好きなことを見つけ、勉強や部活動、学校行事やボランティア活動などに積極的に取り組んでください。

本校の創立以来の校訓は「不撓不屈」です。私は皆さんに、失敗を恐れず果敢に挑戦し、つまずいても決してあきらめることなく、しっかり前を向いてさらに挑んでいく、こんな経験をたくさん積んでほしいと思っています。そして、こうしたチャレンジを繰り返すことを通して、自分の人生に幸せや生きがいを見つけるとともに、友人や家族、地域の人々の幸せを願い、学校や自分の住む町やこの世界までをもより良くしようと行動できる人になってください。私は、皆さんに大きな期待を寄せています。

さて話しは変わりますが、令和6年の年明けにあった能登半島地震は、何の前触れもなく突然降りかかった、まさしく晴天の霹靂といった出来事でした。本校にもこれまで経験したことのない大きな被害が発生しました。しかし悪いことばかりではありません。それは、本校が困難に直面していることを知った多くの方から、たくさんのご支援をいただくことができたからです。その中から、岩手県にある宮古商工高校の生徒・職員の皆さんから届いた義援金についてお話しします。

今から13年前の3月、東北地方を襲った東日本大震災の大津波によって、宮古商工高校は校舎が浸水するなどの大打撃をこうむりました。そのとき、本校が宮古商工高校の復興を支援したことから両校の絆が深まり、今回は、岩手県の学校が義援金を集め、寄付して下さったのです。「情けは人のためならず」という言葉があるように、「人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、やがてはよいこととなって自分に戻ってくる」ということが現実になりました。いただいた義援金は、グラウンドや体育館が使えない本校にとって、部活動を継続していくためのとても貴重な活動資金となりました。皆さん、どうかこのことを覚えておいてください。人のためにする行動は、自分のための行動でもあるのです。周りの人を大事に思う気遣いや言葉の配慮、困っている人を助けたり救ったりする行動が能登の被災地のためになるだけでなく、皆さんがこの北陵高校に入学して、新しい友人と良好な人間関係を築いていくことにも大切なことなのです。

皆さんが最初に本校を訪れたのは、入学試験のときでしょうか？そのときどう思いましたか？私は、地震被害にあった学校を見て驚いているのではないかととても心配していました。しかし、ちょうどひと月前の合格発表のとき、私の心配は消し飛んでしまいました。合格して喜色満面にあふれる皆さんを見ていると、この生徒たちなら、これから本格的に復旧工事が進む本校と一緒に歩いてくれる。大丈夫だと確信しました。皆さんの笑顔には希望が宿っています。合格発表のときのように万歳して心から喜べる体験をこれから何度でも味わってもらいたい。私はそう強く願っています。

ご来場の保護者の皆様、ご家族の皆様。改めて、本日は、お子様のご入学おめでとうございます。今後、お子様をはぐくみ成長を支援していくためには、ご家庭と学校が密に連携し、協力することが何より大切です。どうか、私たちとともにお子様が成長していく過程を、温かく見守り、励ましの言葉をかけていただきたいと思います。お子様が充実した高校生活を送り、自分の将来への道を切り拓いていけるよう、職員一同、精一杯お子様のサポートに努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

最後に新入生の皆さん。自分を大切に、夢の実現に向けて、この金沢北陵高校で自分も周りも笑顔にできる、充実した高校生活を送られることを心からお祈りして、式辞といたします。

令和6年4月8日

石川県立金沢北陵高等学校長 中村 悟